

事業報告書

(自 令和 3 年 1 月 1 日 至 令和 4 年 1 0 月 3 1 日)

1 医療法人の概要

- (1) 名 称 医療法人 社団 箆上袴田外科医院
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)
- ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人
- ☐ 出資額限度採用 ☒ その他
- ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用
- 注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、
該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)
- (2) 事務所の所在地 静岡県静岡市葵区箆上 1 3 番 2 0 号
- 注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。
- (3) 設立認可年月日 昭和 6 3 年 1 2 月 2 3 日
- (4) 設立登記年月日 昭和 6 3 年 1 2 月 2 3 日

2 事業の概要

- (1) 本来業務 (開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第 42 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の業務)

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
診療所	袴田外科医院	静岡県静岡市葵区箆上 1 3 番 2 0 号	一般病床 0 床

- 注) 1. 地方自治法第 244 条の 2 第 3 項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を [] 書で記載すること。
3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

- (2) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和 3 年 1 2 月 2 5 日 令和 2 年度決算の決定

同 資産の総額、理事・監事の任期满了、理事報酬額

令和 4 年 1 0 月 2 2 日 令和 4 年度の事業計画及び収支予算の決定

様式2

※医療法人整理番号

法人名 医療法人 社団 箒上袴田外科医院

所在地 静岡市葵区箒上13番20号

財 産 目 録

(令和 4年 10月 31日現在)

1. 資 産 額	819,284	千円
2. 負 債 額	247,385	千円
3. 純 資 産 額	571,899	千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	255,791
B 固 定 資 産	563,493
C 資 産 合 計 (A+B)	819,284
D 負 債 合 計	247,385
E 純 資 産 (C-D)	571,899

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))

建 物 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))

様式 3 - 2

※医療法人整理番号

法人名 医療法人 社団 箆上袴田外科医院

所在地 静岡市葵区箆上 1 3 番 2 0 号

貸 借 対 照 表

(令和 4 年 1 0 月 3 1 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	255,791	I 流 動 負 債	247,385
II 固 定 資 産	563,493	II 固 定 負 債	0
1 有 形 固 定 資 産	249,101	負 債 合 計	247,385
2 無 形 固 定 資 産	125	純 資 産 の 部	
3 その他の資産	314,267	科 目	金 額
		I 出 資 金	10,000
		II 積 立 金	561,899
		III 評価・換算差額等	0
		純 資 産 合 計	571,899
資 産 合 計	819,284	負債・純資産合計	819,284

法人名 医療法人 社団 箆上袴田外科医院

所在地 静岡市葵区箆上13番20号

損 益 計 算 書

(令和 4年 10月 31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	249,002
2 事業費用	219,350
本来業務事業利益	29,652
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	
2 事業費用	
附帯業務事業利益	0
事業利益	29,652
II 事業外収益	10,808
III 事業外費用	600
経常利益	39,860
IV 特別利益	651
V 特別損失	
税引前当期純利益	40,511
法人税等	9,628
当期純利益	30,883

- (注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。